

## 授 業 記 録

記録者：相澤（日枝小学校）

堀江先生（Ｔ２）

時 刻	教師の支援	児童の反応
13:25	教具の点検，パソコン・プリンターの電源確認 「ものさし，持ってきた？」	
13:30	課題提示（Ｔ１）の手伝い	
13:35	先にパソコンを使用する児童（グループ）の確認 てがき用のプリントを取りにくる児童への援助 プリントを見て見通しを持とうとしている児童への支援  「どうしたらいいと思う？」  「それは良い考えだ」  【ねる時刻調べグループ】 表の見方の指導 【休み時間調べグループ】 プリントアウトのしかたを指導 「用紙を持ってこないといけないね」	「この用紙（目もりの数）では，棒グラフの先が飛び出してしまうよ」  「１目もりを２人にすればいいや」
13:40	【好きな動物調べグループ】  「とりあえず一度プリントアウトしてごらん」（次に使う人が待っているので） 【休み時間調べグループ】  「先生のパソコン，貸してあげるよ」	パソコンで棒グラフの色を変えている。  「プリンターの異常だ」（エラー発生）
13:45	各グループへのプリンタ用紙の補充・配布 【休み時間調べグループ】	

時 刻	教師の支援	児童の反応
13:55	<p>「棒グラフは大きい順に並べるのではなかった？」</p> <p>「先生がやってあげよう」</p> <p>「その通りだ。よく気がついた。えらい、えらい」</p> <p>【好きな動物調べグループ】</p> <p>「項目を書いておきなよ」</p> <p>【起きる時刻調べグループ】</p> <p>【休み時間調べグループ】</p> <p>レーザー・プリンターのチェック</p> <p>【起きる時刻調べグループ】</p> <p>起動できたかの確認</p> <p>【登校時刻調べのグループ】</p> <p>「まだプリントしてないの、早くしてあげて」</p> <p>プリントアウトの仕方を指導</p> <p>【休み時間調べグループ】</p> <p>使用していないパソコンを移動</p> <p>【好きなくだもの調べグループ】</p> <p>「棒グラフって、数値の大きい順に並べるのではなかった？」</p>	<p>データの入力が終わり、プリントアウトしている。</p> <p>「できた。でも、”その他”は多くても一番右にするんだよ、先生」</p> <p>プリントアウト終了</p> <p>パソコンが動かなくなってしまう、てがきでやろうとしている。</p> <p>「トラブルが発生したよ、堀江先生」</p> <p>「プリントの仕方がわからないんだよ」</p> <p>書くための場所（机上）が狭く、書きにくそうにしている。</p> <p>「そうだ、まちがえた」</p>

時 刻	教師の支援	児童の反応
14:06	<p>・データの並べ換えを支援 【起きる時刻調べグループ】</p> <p>プリントアウトの仕方を指導 【好きな勉強調べグループ】</p> <p>「どうしたらいいか考えてごらん」 「パソコンのグラフを見てごらん」</p> <p>志田先生へ時刻の確認</p> <p>【好きなくだもの調べグループ】</p> <p>「先生がやってあげようか？」</p> <p>「プリントアウトしたものに単位，題，項目を書きなさい」</p>	<p>プリントアウトの仕方がよくわからない。</p> <p>「（てがき用プリントの）29マスでは目もりが足りないよ」</p> <p>「1目もりを2人にすればいいんだ」</p> <p>画面表示を大きくしようとしているがうまくできない。</p> <p>先生の援助の申し出を断り，自力でやり遂げる。</p> <p>全員，黒板の前に集合</p>
14:15	<p>発言者への発表の補助</p> <p>「テレビをみてごらん」 モニターのグラフの目もり表示を切り替える。1目もり，5目もり，目もり無し</p> <p>「目盛りの大きさの表示は必要に応じてすればいいんだね」</p>	<p>「好きな給食調べ」の発表 目もりのとり方の意見交換 「1000などの数だったら，1目もりを100にすればできる」</p> <p>「すごい」</p>